

学外研修報告  
—機械工作技術研究会および同連絡協議会への参加報告—

工作部門 林 祐太

1.はじめに（目的等）

本研究会は大学等で機械工作を業務とする技術職員を対象とした研修であり、職務に必要な実践的技術の向上および技術情報を共有することにより機械・工作分野における見識を育むことを目的として参加した。また、2021年度に本研究会を広島大学で開催するため、開催準備のための情報収集を行う。

2.期間・場所

期間：2019年9月19日～2019年9月20日（2日間）

場所：九州工業大学 戸畑キャンパス（福岡県 北九州市）

3.参加者等

43名（協議会10名）

4.研修内容

1. 連絡協議会（開催状況・次回の準備状況・以降の開催校などを協議）
2. グループワーク（ダンドリ会議：課題図面に対して加工段取の討議および発表）
3. 口頭発表（逸品紹介：実際に業務で使用して良かったモノの紹介）
4. 演習（工作室見学：説明員・参加者による実際の加工現場での意見交換）
5. マイスターによる加工実演および実技指導

5.まとめと感想

連絡協議会では今年度の開催準備についてスタッフの役割分担や準備時期等の説明があり、本校での開催に関して情報を得ることができた。

研究会では、発表や演習中も意見交換が活発に行われており、実際に購入を検討していた工具や道具を使用している人から情報が得られたり、こちらから情報を出したりしながら討論が行われ、同じ分野の技術職員が集まっているからこそできる実務に役立つ内容になっていた。

特に、他機関の機械・工具を使用させていただける貴重な機会であり、普段、気に留めずに行う機械操作についても、何故そうやるのか？そのやり方は良さそう、といった形でOJTよりも細かな点にも視点を当てることができるものであり、若手に限らず発見があると感じた。本校での開催時にもこのような有意義な研究会にできるよう準備を進めていきたい。